

新見公立短期大学ニュース No.9 (2008年5月)

発行 新見公立短期大学

718-8585 新見市西方 1263-2

Tel: 0867-72-0634

Fax: 0867-72-1492

本学の法人化

2008年4月1日より、本学は公立大学法人になりました。法人化によって、大学の自主性・自立性が高めることができ、教育研究の高度化、活性化、能率化、個性化を図ることができよう。そして、のびのび、いきいきと勉学し、生涯学習の習慣を身に付け、高い志に燃え、実行力のある学生を育てる大学を目指します。

看護師、保健師国家試験 100%合格

今年度も、看護師、保健師国家試験に100%合格を達成出来ました。合格された方々に心からのお祝を送ります。

新居志郎前学長 「瑞宝中綬章」を受章

2008年4月29日に、春の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章されました。国際競争に勝ちたい一心で、ウィルス研究に電子顕微鏡を駆使したと振り返られました。

新居氏は元岡山大学医学部長で、新見公立短大では男女共学化を実現させました。

新見市学術交流センター (図書館) オープン

2008年4月6日、本学キャンパス内に、新見市学術交流センター(図書館)が開館しました。市民の皆様にも利用して頂けるようになり、また図書館閲覧室から新見市

市街が展望されます。

新たに、学術交流センター内に「子育てカレッジ」をつくり、子育て支援をします。

オープンキャンパス

月日:2008年7月21日(祝),8月20日(水)

本学のキャンパスに来られれば、教職員や在学生と直接触れ合うことで、本学の雰囲気を感じることができます。

サンデー毎日に特色GPの記事

「大学の教育力は新指標GPで測れ」

2007年12月26日付けのサンデー毎日に、特色GP3件以上取得の4年制の大学(国立、公立、私立の41校)が特集されていますが、記事の中に特色GPを3件取得している本学のことが紹介されています。

認知症の講演会のお知らせ

テーマ:「認知症と明るく生きる」
講演者:太田正博氏(認知症のご本人)
と菅崎弘之氏(主治医)

日時:平成20年5月24日(土)、
午後1時から3時

場所:新見市学術交流センター
(新見公立短期大学内)

「子育てカレッジ」設立

2008年4月6日に、新見市学術交流センター内に、「子育てカレッジ」がオープンしました。その活動内容は下記の通りです。

- 1) 保育士、幼稚園教諭、子育てボランティアらの研修
- 2) 大学教員による専門的な子育て相談
- 3) 親子の交流の場の設置や定期的な親子活動指導
- 4) 子育ての実情を学生に伝え、将来の子育て支援者を育成
- 5) ホームページで地域の子育て情報発信

平成19年度卒業式

2008年3月18日に挙行された。

看護学科	58名
幼児教育学科	51名
地域福祉学科	52名
地域看護学専攻科	16名
計	177名

(学長の式辞より)

- 1) 絆を大切に、そしてよい絆をつくる。
- 2) 汗を流して働く、挑戦する。
- 3) 選挙に行く、日本を良くするために、政治を自分で考えるために。

卒業生の進路

看護学科(58名) [26期生]	進学	24名
	就職	34名
幼児教育学科(51名) [27期生]	進学	4名
	就職	保育所 28名
		幼稚園 16名
		施設 3名
地域福祉学科(52名) [11期生]	進学	15名
	就職	37名
地域看護学専攻科(16) [4期生]	保健師	11名
	看護師	5名

平成20年度入学式

2008年4月8日に挙行された。

看護学科	64名
幼児教育学科	52名
地域福祉学科	49名
地域看護学専攻科	16名
計	181名

(学長の式辞より)

- 1) 新見は勉学に適する地域である。
- 2) 挨拶を、学内、学外で、地域の安全にも繋がる。
- 3) 目標をもつ。

特別講演会

2008年4月16日に、新入生を対象に難波学長と井関教授が行ないました。

学長は「新見公立短期大学が目指すもの」

- 1) 人間をつくる。
- 2) 教養を身につける。
- 3) 専門的知識・技能を習得する。

について話しました。

井関教授は「介護・ケアについて考える」というテーマのもと、「対象者が成長に向かうように介護することは、介護者の人間的成長にも繋がり誇りが持てる仕事である。誇りが持てるように頑張る勉強してほしい」と講演しました。

「看護研究」発表会

2007年11月27-28日、看護学科26期生の「看護研究」発表会が開かれ、口演25名と示説34名に分かれて、59名の学生が発表しました。

「公衆衛生看護研究」発表会

2007年12月20日、地域看護学専攻科4期生の「公衆衛生看護研究」発表会が開かれ、16名の学生が発表しました。

幼児教育学科「総合研究」発表会

2008年2月14日、本学合同講義室にて幼児教育学科総合研究発表会が開催されました。2年生51名が、総合研究の成果を口頭およびポスターにて発表しました。

「地域福祉研究」発表会

2008年2月21日、地域福祉学科11期生の「地域福祉研究」発表会が開かれ、22名の学生が発表しました。

看護学科「卒業生と語る会」

2007年12月14日に、卒業生から話を聞きました。

- 1) 宮本貴世子さん(24期、倉敷成人病センター) : 新人教育がしっかりしている。あきらめずに頑張る。自分が適しているかどうかを悩む前にがむしやりに働く。
- 2) 柳田大輔君(23期、倉敷成人病センター) : 男性看護師は女性看護師より違う視点があると評価される。自分のやりたいことで病院を選ぶ。コミュニケーションの苦手な人は自分の周りから。
- 3) 山本佳世さん(23期、岡山済生会総合病院) : 新人教育に力を入れている。キャリアアップに繋がる。自分の仕事に誇りをもって働いている。
- 4) 三宅優子さん(24期、岡山大学医学部保健学科) : 大学編入の準備を計画を立ててやった。大学では自由な時間が多い。
- 5) 秋山久美さん(24期、阿南保健所) : 看護の視点をもった保健師。保健師助産師コースでしんどかったが、良い事もある。

幼児教育学科「卒業生と語る会」

2008年3月1日、5名の卒業生を講師としてお迎えし、「卒業生と語る会」が開かれました。交流時間はわずかでしたが、学生達は先輩の活躍する様子を肌で感じ、有意義な時間を過ごしました。

地域福祉学科「卒業生と語る会」

地域福祉学科では2008年4月23日、上田純平さん(哲西荘勤務)、清水美公さん(喜楽苑3月末退職)、松永美輝恵さん(本学地域福祉学科勤務)の3名の卒業生を招き、2年生を対象とした第2回「進路ガイドダンス」を開催しました。

先輩から自分の就職活動や現在の介護福祉現場の状況、働きがいなど有意義な話があり、学生からは率直な質問がありました。

その後3つのグループに分かれて、より具体的な質問や相談を行ない、介護福祉の現場で働くことの意義を新たにしている学生も多く、有意義な内容となりました。

第17回にいみこどもフェスタ

幼児教育学科主催の第17回表現発表会が、2008年2月23日、まなび広場にいみこにて開催された。悪天候にもかかわらず、1,300名もの方々にご来場いただき、朝昼2回の公演において、2年生50名が子ども達を前に、歌や劇、ダンスを披露した。

また公演に合わせ同広場2階で、幼児教育学科2年生の「総合研究」、地域福祉学科2年生の「地域福祉研究」のポスター掲示や、地域福祉学科の「地域文化演習」の講師学生の作品展示が行なわれ、学生と地域の方々との間で有益な意見交換が行なわれた。

こどもフェスタ in しんごう 2008

2008年4月20日(日)に幼児教育学科の表現発表会「にいみこどもフェスタ」の第4回移動公演が、神郷総合センター「やまびこ広場神郷」で開催され、親子約200人が詰めかけ、幼児教育学科2年生51名による歌、踊り、手遊び、劇などで楽しんだ。

文部科学省選定の特色GPに選定された取り組みで、2005年から哲西、大佐、哲多、神郷の順で旧四町すべてを回り終えた。

新見公立短期大学カンボジア会 カンボジア・スタディツアー

研修先：カンボジア シェムリアップ市

期間：2008年1月5日～1月9日

参加者：看護学科2年3名、1年6名、教員3名の計12名

研修内容：NGO団体の主催する孤児・地雷障害者・母子家庭・エイズ患者の支援プロジェクトの見学と、学生によるレクリエーションを実施し、施設の子どもたちと交流。現地医師による巡回診療の同行。トンレサップ湖やアンコール遺跡群の見学を行い、カンボジアの文化や生活に触れました。

新見短大同窓会 津山支部会発足

2008年1月26日(土)、第1回津山支部会が津山市にて8名で開かれました。

役員は、支部長に松永美輝恵（福1期生）さん、幹事に井上富弥江（看17期生）さん、副支部長に豊福まゆみ（看6期生）さんと、武川広子（幼1期生）さんが選出された。

学長が短大の現状を説明し、大学創立頃の話聞く事ができ楽しい会となりました。大学から難波学長、田辺教授が参加した。

教職員の転出

氏名	学科	転出先
白神佐知子	看護学科	福山平成大学
藤井 宏明	地域福祉学科	福山平成大学
岡本 亜紀	看護学科	香川県保健医療大学

教職員の退職

氏名	学科	職位
真壁 幸子	看護学科	講師

教職員の採用

氏名	学科	職位
内藤 一郎	看護学科	教授
澤田 由美	看護学科	講師
三上 ゆみ	地域福祉学科	講師
野原ひでの	幼児教育学科	講師
山縣 由子	看護学科	助教

教職員の昇任

氏名	前職位	学科	昇任
上山 和子	准教授	看護学科	教授
斎藤 健司	講師	幼児教育学科	准教授
岡本 直行	講師	幼児教育学科	准教授
岡 宏美	助教	看護学科	講師
掛屋 純子	助手	看護学科	助教

新見公立短大紀要 第28巻発行

大竹晴佳講師の「過疎対策の展開と地域の存続—岡山県旧阿哲郡神郷町を事例として」や、原田信之教授の「岡山県新見市の玄賓僧都伝説」など地域のテーマも掲載しています。

原田佳代さんJICAへ

(地域看護学専攻科2期生)

この度、JICAへ採用になり、心からのお祝いをお送りいたします。現在研修中で、本年12月より東南アジア地域に着任予定で、ご健闘をお祈りします。

新任教員の抱負

内藤 一郎 (山口大院)	看護学科 教授	心の豊かな人を育てたい、目的に向かって頑張れる人を育てたい、自ら考え自ら学ぶ人を育てたい。
澤田 由美 (県立高知女子大院)	看護学科 講師 (精神看護学)	主体的に学ぶ姿勢を持ち続け、柔軟な思考ができる看護師の養成に力を尽くしたい。
三上 ゆみ (新見女子短大)	地域福祉 学科 講師	利用者やチームに的確なコミュニケーションと、尊厳を支えるケアができる人材を育てる。
野原ひでの (県立広島女子大院)	幼児教育 学科講師 (社会福祉学)	一人ひとりの子どもの姿を、子どもの生活から理解し支援できる保育者を養成したい。
山縣 由子 (岡山県立大院)	看護学科 助教	身体面だけでなく社会面・心理面から総合的な視点で対象者を捉えることができる看護師を育てる。

「読書クラブ」入会案内

読書クラブ員を募集します。読書の効果

1. 自分をつくる
2. 自分を鍛える
3. 自分を広げる

学生時代にしっかりした読書習慣を身につけよう！

編集委員 田邊 洋、難波正義、山内 圭、
杉本幸枝、芝崎美和、松本百合美